

2022年7月29日

追分駅開駅 130 周年記念写真展 追分駅「いま」・「むかし」を開催します！ ～追分駅・新夕張駅開駅 130 周年～

追分駅は北海道炭砒鉄道会社のもとで空知・夕張方面と港を結ぶ分岐駅として、1892年8月1日に開駅しました。同年11月1日には紅葉山駅(現新夕張駅)が開駅し、両駅は今年で130周年を迎えます。

追分駅ではこれを記念して、安平町のご協力のもと、過去の追分駅及び駅前風景等の貴重な写真を集めた写真展を追分駅コンコースにて開催いたします。会場では、昔の写真と同じアングルで撮影した現在の追分駅写真の比較展示も行います。この機会に追分駅の130年のあゆみを一緒に振り返ってみませんか？

また追分駅・新夕張駅では記念フラッグも掲出します。みなさまのお越しをお待ちしております。

◆追分駅の沿革

- ・1892(明治 25)年 北海道炭砒鉄道の駅として開業
(岩見沢・夕張と室蘭方面を結ぶ分岐駅として開業)
- ・1906(明治 39)年 鉄道国有法により国有化される
- ・1980(昭和 55)年 現駅舎完成
- ・1981(昭和 56)年 石勝線開通



【追分駅】

◆新夕張駅の沿革

- ・1892(明治 25)年 北海道炭砒鉄道の駅(紅葉山駅)として開業
(追分～夕張駅間の駅として開業)
- ・1906(明治 39)年 鉄道国有法により国有化される
- ・1981(昭和 56)年 現駅舎完成・移転
石勝線開業に伴い、紅葉山駅から新夕張駅に改称
- ・2019(平成 31)年 石勝線(新夕張・夕張間)廃止



【新夕張駅】

◆追分駅開駅 130 周年記念写真展の開催

安平町にもご協力いただき、過去の貴重な写真を集めました。

■ 設置期間

2022 年 8 月 1 日(月)～10 月 16 日(日) (予定)

■ 設置場所

JR追分駅コンコース

■ 展示内容

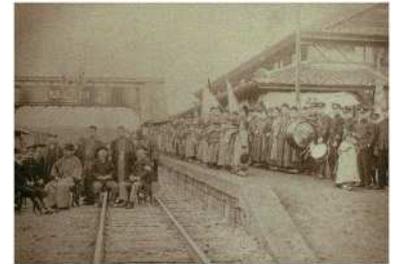
- (1) 追分駅及び周辺について、過去に撮影した写真と同アングルで撮影した現在の写真を並べて展示し、追分駅の「いま」と「むかし」を比較
- (2) SL列車運転の様子や石勝線開業等、懐かしい駅風景の写真展示
- (3) 追分駅開業から現在までの駅の沿革の紹介

■ その他

- ・本写真展は無料でご覧いただけます。
- ・展示内容は変更となる可能性があります。



【展示写真イメージ (今の追分駅構内)】



【展示写真イメージ (1904年頃の追分駅構内)】

◆追分駅・新夕張駅開駅 130 周年記念フラッグ

追分駅及び新夕張駅において、開駅 130 周年を記念したフラッグの掲出を行います。

■ 掲出期間

2022 年 8 月 1 日(月)～2022 年 11 月 30 日(水) (予定)



「北の大地の入場券」×「炭鉄港」連携企画

室蘭本線開通 130 周年記念として、エリア内で指定する各駅の「北の大地の入場券」を同日購入いただいたお客様へ「昭和 40 年 1 月号デザインの時刻表」がもらえるキャンペーンも実施します。

詳しくは下記サイトをご覧ください。

<https://www.jrhokkaido.co.jp/tantetsuko/>

【対象駅】

岩見沢駅、江別駅、白石駅、札幌駅、手稲駅、小樽駅、室蘭駅、登別駅、苫小牧駅、追分駅